



2024年3月期（第27期）
第2四半期 決算説明資料

2023年12月7日

株式会社アイロムグループ



2024年3月期第2四半期 決算概要
(2023年4月1日～2023年9月30日)

アイロムグループ概要

再生医療・遺伝子技術の
研究開発・製造販売

(株) I D ファーマ / (株) ICELLEAP

アカデミア・バイオベンチャー
製薬企業の臨床試験支援

(株) アイクロス / (株) CMAX JAPAN
CMAX Clinical Research Pty Ltd



臨床試験実施
医療機関の支援

(株) アイロム / (株) アイロム I R
(株) アイロム O M / (株) アスボ

クリニックモールの
開設・運営等

(株) アイロム P M / (株) イン

会社概要 (2023年9月30日現在)

商号	株式会社アイロムグループ
設立	1997年4月9日
本社所在地	東京都千代田区富士見2-10-2
代表取締役社長	森 豊隆
市場	東京証券取引所プライム市場 (コード: 2372)
資本金	38億99百万円
従業員数	連結: 1,211名 (準社員含む)

Corporate Identity

● ブランドプロミス

● ブランドシンボル

憂いなき未来のために。



I'ROM GROUP

2024年3月期第2四半期 連結業績

(単位:百万円)

	2022年3月期 (第25期) 第2四半期 実績	2023年3月期 (第26期) 第2四半期 実績	2024年3月期 (第27期) 第2四半期 実績
売上高	6,839	9,639	8,678
営業利益	858	2,409	790
経常利益	994	2,503	1,225
親会社株主に帰属する 四半期純利益	723	1,983	1,092

- SMO事業は上期の売上計画を上回って推移。下期に複数の大型案件の受託を予定しており、通期計画についても上期まで順調に進捗。
- CRO事業は海外事業が堅調に推移。国内事業も受託業務の拡大や統計解析分野のさらなる強化により医師主導試験を始めとした新規試験を複数受託し、下期に開始予定。
- 先端医療事業はCOVID-19ワクチン「IRO-203」の第I相試験において目標症例数への投与を完了。他のパイプラインを含めた研究開発費が発生。
- メディカルサポート事業は引き続き各事業のさらなる拡大のために設備投資等を含めたサポートを推進。

<新規パートナーシップ>

当社グループの技術やノウハウ、ネットワーク等を活用した新たな事業の推進や日本における医薬品開発のより良い環境の構築を目指し、下記企業と新たなパートナーシップを締結し、協業を開始。

① 株式会社ワールドスキャンプロジェクト

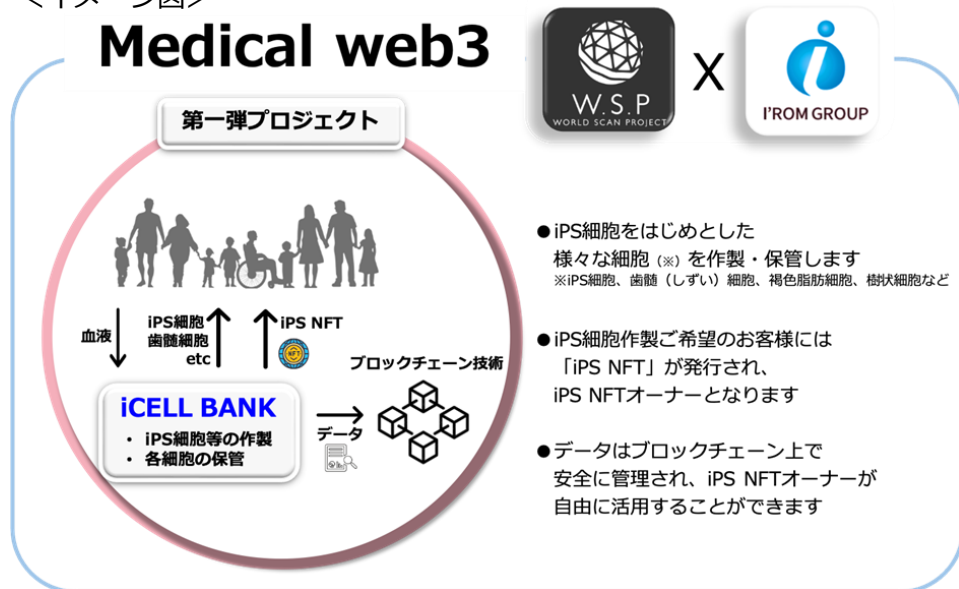
② 瑞達健康産業集団・博^{ボアオ}鰲未来病院

③ NTTコミュニケーションズ株式会社

TOPICS① ワールドスキャンプロジェクトとのパートナーシップ(1)

2023年8月7日 (株)ワールドスキャンプロジェクトと Medical web3時代のウェルビーイング実現に 向けた戦略的パートナーシップ契約締結

<イメージ図>



TOPICS① ワールドスキャンプロジェクトとのパートナーシップ(2)

<パートナーシップの背景・意義>

ブロックチェーン技術を基盤とするNFTは、近年、世界的に注目が高まっております。そのような中、ワールドスキャンプロジェクト社と当社が協業することで、

「再生医療 × NFT」

という新規性の高いプロジェクトを立ち上げ、健康に高い関心を持つ方々に向けた、ご自身のiPS細胞を使用した再生医療の提供およびQOLの向上など、Medical web 3時代におけるウェルビーイングの実現を推進してまいります。

<プロジェクト第一弾>

iCELL BANK プロジェクト

当社グループのCytoTune®-iPSの技術を用いて、お客様個人のiPS細胞を作製・保管し、そのiPS細胞から分化させた細胞（お客様ご自身の細胞）を使用した再生医療やオーダーメイド化粧品などへの利用が可能になるサービスを展開します。

2023年11月16日 瑞達健康産業集団および 博鰲未来病院との共同事業の実施に合意

海南博鰲楽城国際医療旅遊先行区における 医療イノベーションとなるシステムの構築と事業化

<瑞達健康産業集団>



ボアオ
<博鰲未来病院>



博鰲未来病院は、細胞治療の研究開発や臨床データ（リアルワールドデータ）の応用研究等を行っており、当社グループの先端医療技術や臨床試験に関する知見およびノウハウと博鰲未来病院の技術や知見およびネットワークを連携することにより、新たな事業の推進を目指します。

<具体的な取り組み>

- (1) 樹状細胞 (DC : dendric cell) による細胞治療や細胞バンク、健康診断、リアルワールドデータの利活用等の新たな事業を推進します
- (2) 日本の先進的な医薬品や医療機器の早期試験を中国で実施し、日本の先端医療技術を海南博鰲楽城国際医療旅遊先行区 (※) を通じてより多くの患者に提供します

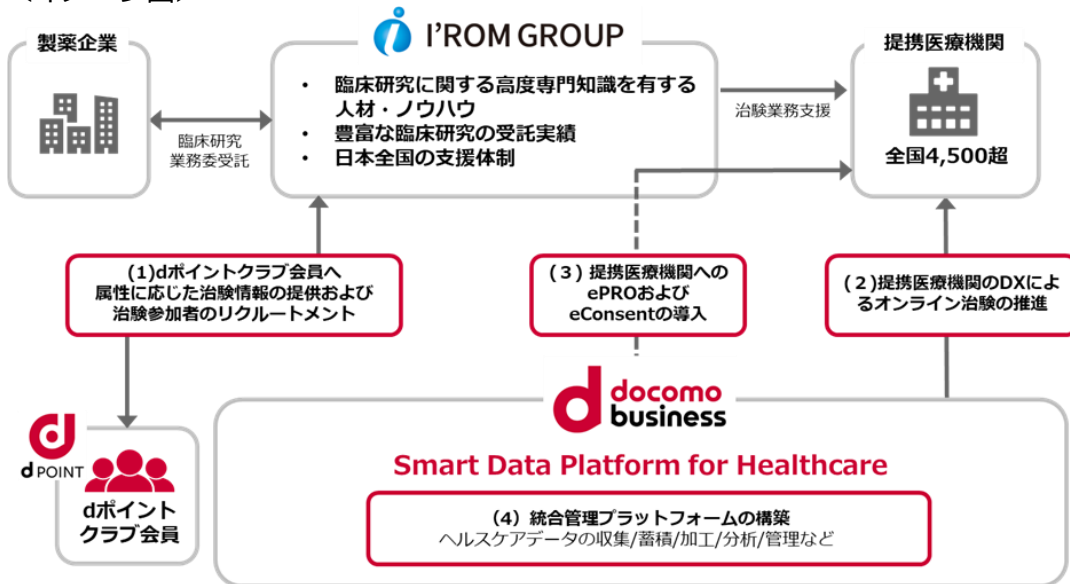
※ 海南博鰲楽城国際医療旅遊先行区 <http://jp.lecityhn.com/>
2013年に中国の行政機関である中華人民共和国国務院が9ヶ条の政策措置に基づき認可した医療特区。海南省政府がこのエリアの整備を推進しており、特別許可医療・健康管理・リハビリテーション・美容医療などの国際医療や観光に関連する産業が試行的に展開され、国内外ハイレベルの医療観光サービスと先進的な国際的医療研究成果を導入し、国際的な医療技術サービス産業の集積区を建設することを目指しています。



2023年11月29日 NTTコミュニケーションズ(株)との協業を開始

dポイントクラブ会員基盤を活用し治験参加者をリクルートメント
～治験参加者を早期に確保し治療薬の開発期間短縮をめざす～

<イメージ図>



<協業の背景>

日本は高度な医療技術や設備の充実、清潔な衛生環境により平均寿命が長い長寿国とされていますが、死因の第一位であるがんや、免疫疾患、神経変性疾患、また比較的罹患者の多い糖尿病や精神疾患などについては十分な治療法が確立されておらず、新薬の開発が求められています。

一方で、日本は海外と比較して治療薬の承認・流通までに要する時間が長く、米国と欧州連合で流通している新薬のうち、約72%が国内未承認ともいわれておりドラッグ・ロスが生じています。

この問題は、治験参加者の確保が難しいことや治験を実施する医療機関のリソース不足、インフラが未整備であることに起因しています。

本協業では治験実施体制の根本的な底上げにより、治験参加者の確保などによる治験期間の短縮や、デジタルツールの活用による効率化・品質の向上を行い、新薬の開発と普及を促進することで日本の健康と福祉の向上に貢献します。

TOPICS③ NTT Comとの協業(3)

<協業における具体的な取り組み>

(1) dポイントクラブ会員への治験情報の提供および治験参加者のリクルートメント

株式会社NTTドコモのdポイントクラブ会員のうち700万人のプレミアムパネルを対象に、許諾のとれた会員へ治験の情報提供および、治験参加者のリクルートメントを行います。

生活圏など、会員の属性に応じた情報提供や治験実施機関への誘導により、効率的に治験参加者を掘り起こし、治験期間の短縮を実現します。

(2) 提携医療機関のDXによるオンライン治験の推進

当社グループが提携する全国4,500超の医療機関に対し、NTT Comは全国8つの支社や、全国47都道府県に支社・支店を持つグループ会社の株式会社ドコモビジネスソリューションズと連携し、ICTソリューションやセキュリティ関連サービスの提案を実施し、DCTなど、オンラインで可能な治験体制を構築します。これにより地域の格差なく治験に参加しやすい環境の整備を行います。

TOPICS③ NTT Comとの協業(4)

<協業における具体的な取り組み>

(3) 提携医療機関へのePROおよびeConsentの導入

当社グループの提携医療機関へNTT ComのSmartPROを導入し、ePRO機能を活用することで、従来紙ベースで収集されていた治験参加者の主観的評価のオンライン取得を促進します。これにより、タイムリーな情報収集や入力漏れ低減を可能とし、信頼性の高いデータ取得による治験の品質向上と効率化を実現します。

また、治験参加の際のインフォームド・コンセントではSmartPROのeConsent機能を使うことで、同意管理の電子化による業務効率化の実現と自宅にいながら同意説明を受けることができるという選択肢の提供が可能になります。

(4) 統合管理プラットフォームの構築

電子カルテやEDC、PHRなどの情報を安全かつ効率的に活用するため、当社グループの臨床研究情報統合管理プラットフォームとして「Smart Data Platform for Healthcare」を基盤とした環境構築をめざします。

セグメント別業績及び 各事業の概況

2024年3月期第2四半期 セグメント別業績

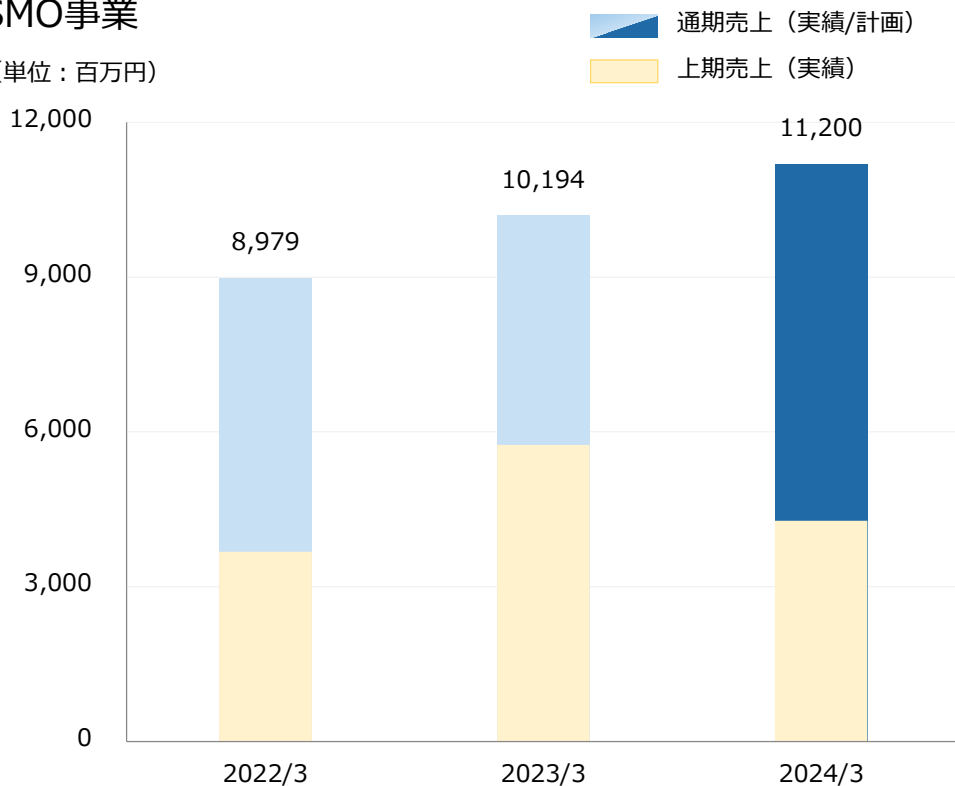
(単位:百万円)

	2022年3月期第2四半期実績		2023年3月期第2四半期実績		2024年3月期第2四半期実績	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
	営業利益	売上高比	営業利益	売上高比	営業利益	売上高比
SMO事業	3,678	53.8%	5,747	59.6%	4,280	49.3%
	1,563	42.5%	3,275	57.0%	2,089	48.8%
CRO事業	2,363	34.6%	2,741	28.4%	2,801	32.3%
	240	10.0%	82	3.0%	66	2.4%
先端医療事業	291	4.3%	618	6.4%	844	9.7%
	△311	—%	△181	—%	△ 23	—%
その他事業	497	7.3%	503	5.2%	533	6.1%
	123	24.9%	24	4.9%	△ 35	—%
合計	6,839	100.0%	9,639	100.0%	8,678	100.0%
	858	12.5%	2,409	25.0%	790	9.1%

2024年3月期第2四半期 セグメント別業績

SMO事業

(単位：百万円)



- がんセンターや大学病院等の基幹病院との提携が引き続き拡大し、あらゆる疾患領域の試験が受託可能な体制構築を推進

- 短期収益型の大型案件を下期に予定しており通期計画は上期まで順調に進捗（前期は上期に短期収益型の大型案件を受託）

- CRC/SMA業務プロセスの標準化・効率化および継続した人材教育の徹底による、グローバルスタンダードに準じた高品質な支援体制を強化

CRC：Clinical Research Coordinator（治験コーディネーター）

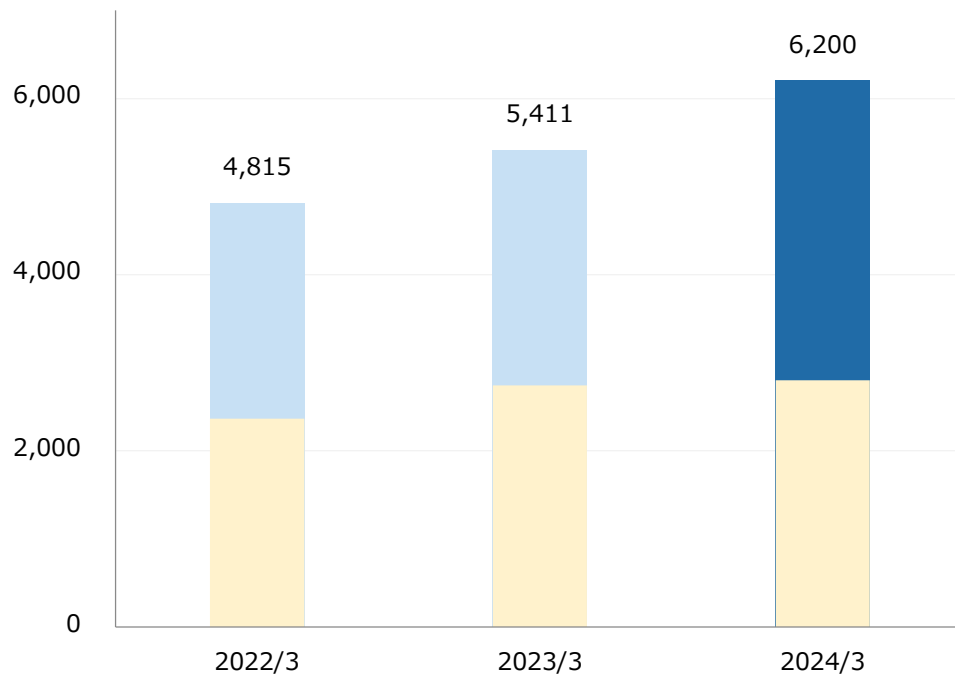
SMA：Site Management Associate（治験事務局担当者）

2024年3月期第2四半期 セグメント別業績

CRO事業

(単位：百万円)

■ 通期売上 (実績/計画)
■ 上期売上 (実績)

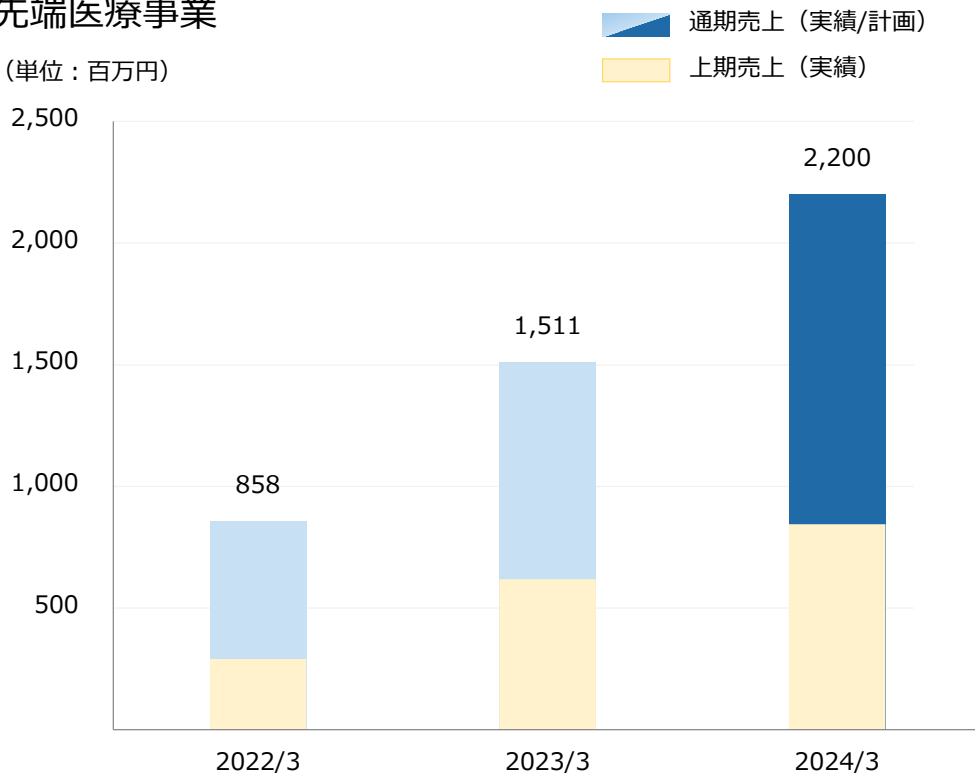


- 海外の臨床試験実施施設において、新規試験の受託が堅調に推移
- 国内の開発業務支援では受託業務の拡大を推進するとともに、統計解析分野のさらなる強化に継続的に取り組んでおり、アカデミアによる医師主導試験をはじめとする複数の新規試験を受託し、下期に開始予定

2024年3月期第2四半期 セグメント別業績

先端医療事業

(単位：百万円)

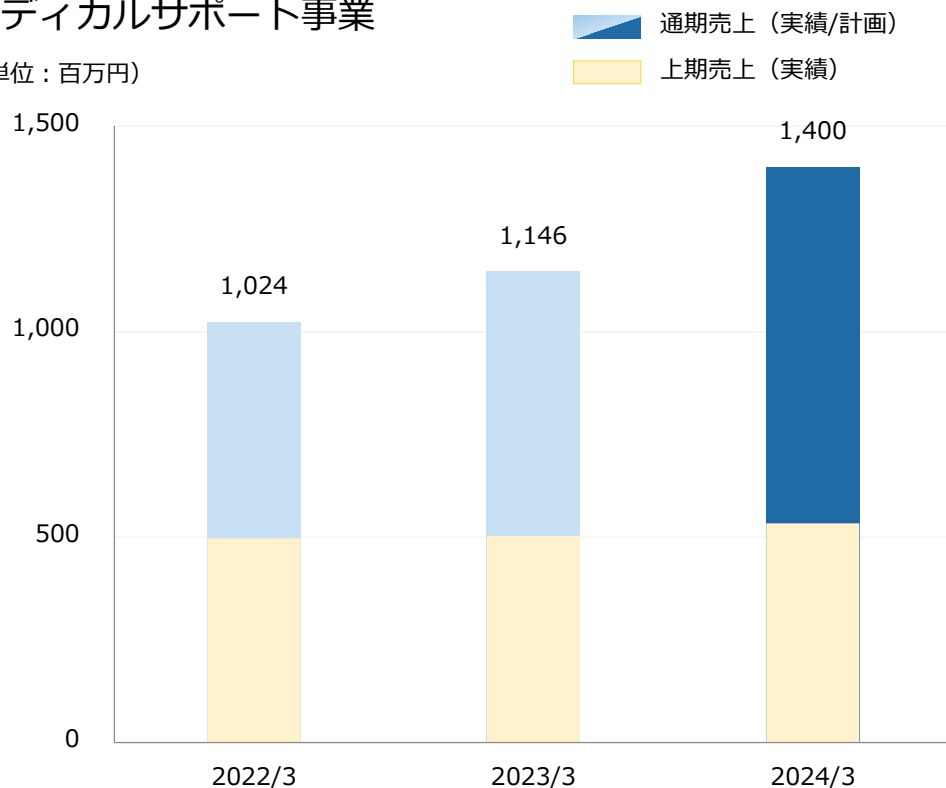


- COVID-19ワクチン「IRO-203」の第I相臨床試験において目標症例数84例に投与を完了
現在は安全性や有効性等を評価する観察期間として試験継続中
- 複数の企業との新規ライセンス契約を締結するなど、iPS細胞作製キット「CytoTune®-iPS」のライセンス事業が顕著に拡大
- 「IRO-203」をはじめとする各パイプラインの開発推進により研究開発費が発生

2024年3月期第2四半期 セグメント別業績

メディカルサポート事業

(単位：百万円)



- クリニックモール事業が堅調に推移し、安定した売上を確保
- 先端医療事業の新規ベクター製造施設の建設支援を行うなど、引き続きグループの各事業の推進・拡大をサポート

2024年3月期 業績計画
(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年3月期 連結業績計画

(単位:百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	前期比 増減率
売上高	15,693	18,351	21,000	14.4%
営業利益	1,068	3,639	4,200	15.4%
経常利益	1,352	3,285	4,200	27.8%※
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,373	2,542	2,900	14.1%

※前期の営業外費用計上に対し、今期は為替差益等営業外収益を計上見込み

[セグメント別計画]	SMO事業	CRO事業	先端医療事業	メディカル サポート事業
売上高	11,200	6,200	2,200	1,400
営業利益	5,300	500	200	300

成長シナリオ・中期計画

成長シナリオ

✓ 収益性の確保

↳ 8期連続増収（2017年3月期～2024年3月期）

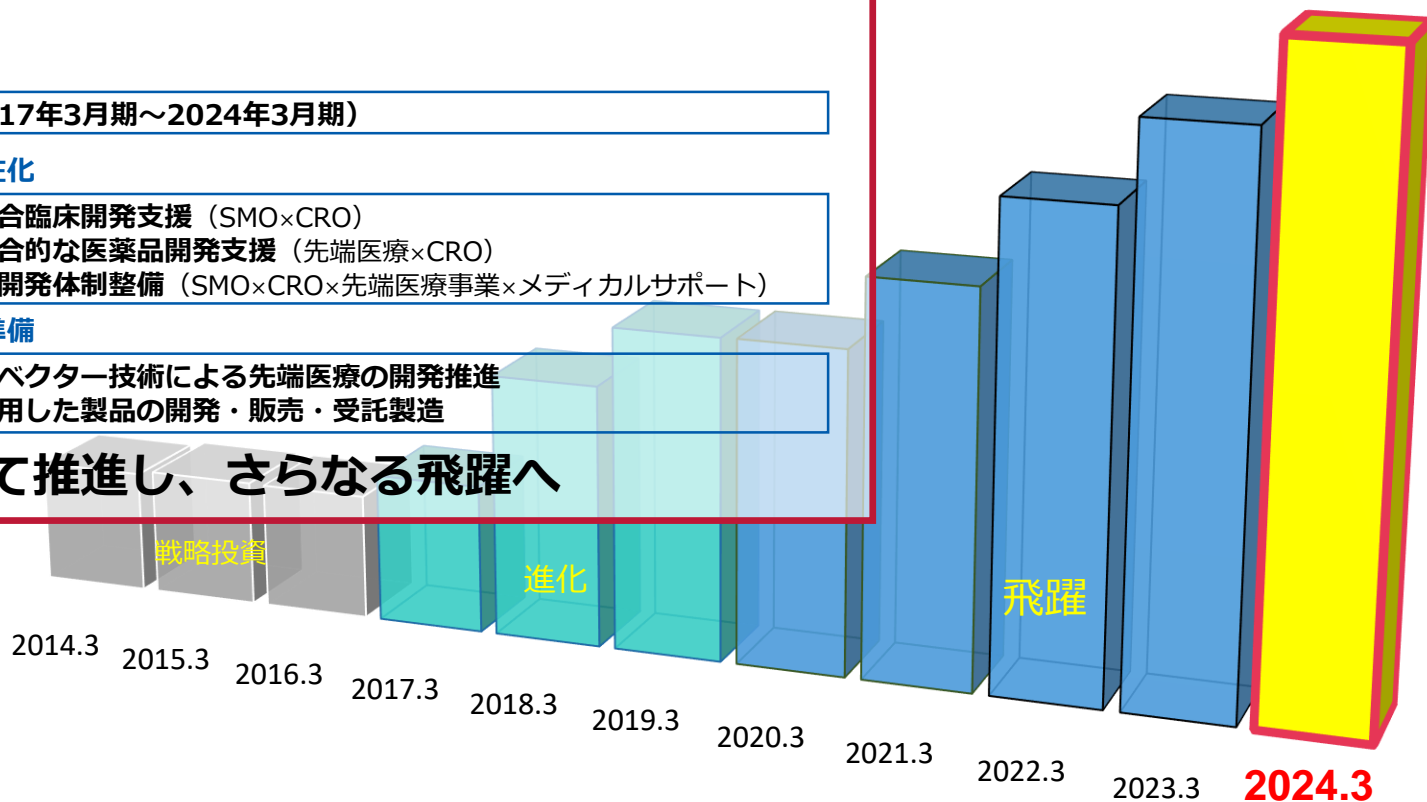
✓ 事業間シナジーの顕在化

↳ ハイブリッド型総合臨床開発支援（SMO×CRO）
先端医療開発の総合的な医薬品開発支援（先端医療×CRO）
自社開発医薬品の開発体制整備（SMO×CRO×先端医療事業×メディカルサポート）

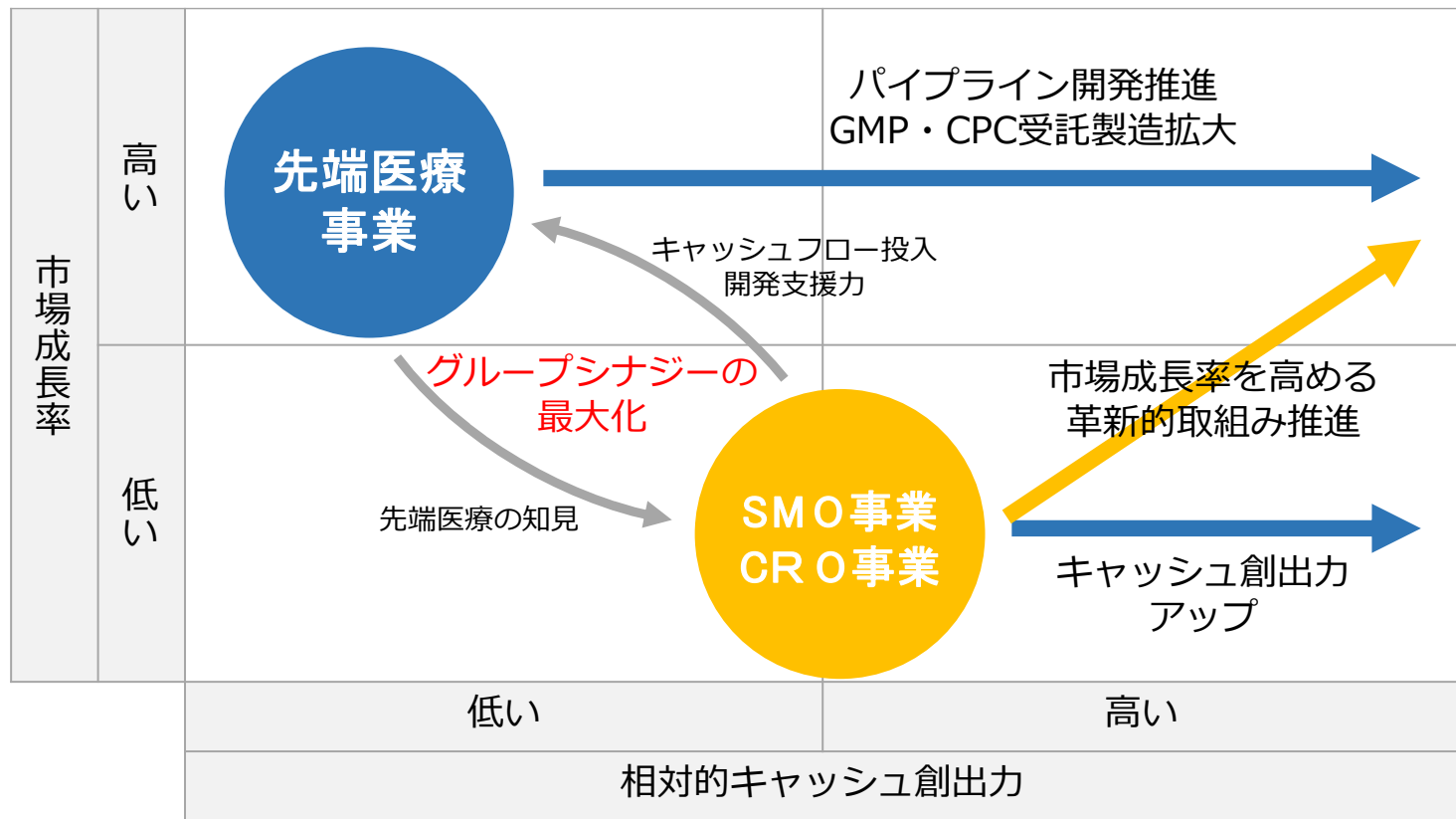
✓ 長期的戦略に向けた準備

↳ センダイウイルスベクター技術による先端医療の開発推進
先端医療技術を応用した製品の開発・販売・受託製造

➡ 継続して推進し、さらなる飛躍へ



グループ戦略



資料取扱い上の注意

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点での入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接又は間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

【IR問い合わせ先】
株式会社アイロムグループ
社長室：小島・竹内
TEL：03-3264-3148